

第10回中小企業振興会議 議事要旨

日 時	平成28年3月28日(月) 午後6時15分から午後7時20分まで
場 所	クリエイション・コア東大阪 南館3階技術交流室A
出席者	○中小企業振興会議委員 阿児委員、飯島委員、茨木委員、上田委員、大西委員、小野委員、角本委員、糸野委員、倉貫委員、高田(克)委員、高田(久)委員、田中委員、中嶋委員、西松委員、文能委員、宮野委員、矢沢委員、弓場委員、脇田委員 ○事務局 米谷経済部次長、鶴山モノづくり支援室長、賀川労働雇用政策室長、望月経済総務課長、米田商業課長、土山労働雇用政策室次長、久保労働雇用政策室次長、紀先農政課長、森脇経済総務課主査
案 件	1. 各部会における報告について 2. 平成28年度中小企業の振興に関する施策(案)について
議事要旨	<p>開会</p> <p>○案件1【各部会における報告について】 報告1並びに報告2及び報告3に基づき、糸野モノづくり部門会議部会長、中嶋地域商業の魅力と活力の再生検討部会長、上田農業振興検討部会より各部会の進捗報告を行った。</p> <p>【以下質疑応答】 (委員) 先日のモノづくり部門会議に販路開拓コーディネーターに出席いただいた。モノづくりワンストップ事業の拡充に役立つことより、コーディネーターの方に、モノづくり部会の度に出席いただき、忌憚のない意見を今後出していただきということを是非お願いしたい。また、先ほどの報告の中で異業種、提携というか、一緒に活動していくということが提案されましたが、私たちも是非モノづくり部会の一員として、是非この人材育成とですね、人材の確保や継承のために、地域の魅力発信を活用した、農商工とモノづくりが連携して、例えばこれ仮称ですけれども、東大阪オープンファクトリーみたいなものやっってはどうかと思います。せっかく振興会議、3つの部会がありまして、こうして忌憚のない意見を出し合っているわけですから、これを機会にこの取り組みをですね、やったらどうかというふうに思います。私自身も、高等学校とか中学校を含めて、人材育成、次の担い手のためにですね、例えば高等学校であれば企業家講座というものを開きながら、一緒に生徒さんたちと勉強しているわけですが、そういう取り組みをしながら、できるなら親子で参加してもらおう。休日を利用して工場へも来ていただく、いろいろその取り組みに参加していただく、いろいろ農業の取り組みにも参加していくとかということをしてながら、そういう経験をすることによって、担い手づくりをやっていくというような取り組みをですね、行政と一緒にやっていけたらなというふうに思います。</p> <p>(事務局) 様々な機会をとらえまして、いろんな人たちと情報交換をしていくということは大事だと思いますので、可能な限り対応をしてみたい。</p> <p>○案件2【平成28年度中小企業の振興に関する施策(案)について】 資料1に基づき、事務局より平成28年度中小企業の振興に関する施策(案)について説明を行った。</p> <p>【以下質疑応答】 (委員) 例えば、東大阪でつくった農産物を東大阪の食品加工会社が加工して、東大阪の商店で売っていくというときになったときに、3つの部会があるなかで、どのような支援をしていくのか？</p> <p>(事務局) これから議論いただく内容かと思いますが、経済部全体として連携をとりながら対応してみたい。</p> <p>(委員) まち・ひと・しごと創生総合戦略と中小企業振興に関する施策の関係は？</p> <p>(事務局) まち・ひと・しごとに関しまして、当然経済部の方から参画しており、ワールドカップの観光に関することについて、企画室に観光推進組織に関しての予算がついており、同予算につきまして、振興会議の皆様へ情報提供をいたしたいと考えております。</p> <p>(委員) 中小企業振興に関する施策に関する資料について、工・商・労・農・金融という形で分かれて書かれている。別の切り口で、この資料まとめていただければ、今後議論するうえで、共通の課題っていうか、共通の施策という形で非常にみやすいのかなって、是非そういったまとめかた、ソートの仕方っていうのをご検討いただきたいなと思います。</p> <p>(事務局) 検討させていただきます。</p>

○その他

資料3に基づき、事務局より、今後のスケジュール説明を行った。

文能会長より、各部会において、人づくりを共通部分とした議論を進めるため、各部会長を集め、今後の進め方について意見を聞く場を設ける提案があり、承認を受けた。

閉会